

エイド・ディーシーシー（AID-DCC）と業務提携 プロジェクトチーム「AID 新社」により リアル体験型コンテンツを共同開発

株式会社東北新社（東京都港区・植村 徹社長、以下東北新社）と、株式会社エイド・ディーシーシー（大阪府大阪市・富永幸宏社長、以下 AID-DCC）は、4 月 11 日付で業務提携を行い、プロジェクトチーム「AID 新社」により、MR(Mixed Reality／複合現実)、AR(Augmented Reality／拡張現実)などの最新技術を活用した体験型コンテンツを共同開発することとなりました。

東北新社グループは、映像制作を基軸に、キャラクタービジネス、イベントの企画や実施運営、VR を活用したコンテンツ制作も数多く手掛けています。一方、AID-DCC は、国内トップレベルといわれるデジタルクリエイティブを武器にカンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバルで受賞するなど世界的にも高い評価を得ており、体験型アトラクション施設のシステム開発実績を多く有します。

現在、新しい映像表現が続々と生まれ、AI や IoT 技術による体験型コンテンツの進歩も格段に速まっています。この両社の強みを生かした業務提携により、映画や映像の世界のリアル体験といった、没入性がより高いオリジナルの体験型コンテンツを開発、進化したエンターテインメントの提供を目指していきます。

提携に先駆けて、現在テレビ東京ほかで放映中の『けものフレンズ 2』とのコラボイベント『東武ジャパリパーク』（5 月 31 日まで東武動物公園で開催中）を開発。アニメの世界観、AR や謎解きなどゲーム性に富んだ内容を体験することができるイベントとなっています。

今後の「AID 新社」に、ぜひご注目ください。

「AID 新社」＝両社の強みを活かした体験型コンテンツを 共同開発するプロジェクトチーム



- ・総合的な映像制作力
- ・VR、VFX など映像技術力
- ・IP ビジネスのネットワーク
- ・イベント企画・制作力



AID-DCC

- ・デジタルクリエイティブ力
- ・デジタル×エンタメの研究開発力
- ・体験性を高めるシステム開発力

◆株式会社エイド・ディーシーシーについて◆

2004 年設立（2000 年創業）。カンヌライオンズ、ONE SHOW を始めとする国内外の広告賞で数多く受賞。広告やエンターテインメント領域でのデジタルクリエイティブを得意としている。

<https://www.aid-dcc.com/>

東北新社会社概要

代表者：植村 徹
設 立：1961 年 4 月 1 日
資本金：24 億 8,700 万円
事業内容：総合映像プロダクション
<https://www.tfc.co.jp/>